

とうほうだい 授業だより (2 年 算数)

今日、10月26日(火曜日)の2時間目に、2年生の1クラスで、今年2回目の校内研究授業(初任者研究授業)を行いました。教科は、算数。単元名は、『かけ算(1)』～かけ算のいみやかたを考えよう～でした。

本時の目標は、『日常生活の一場面から乗法が使えるとき、使えないときについて考え、乗法の問題をつくることで、乗法についての理解を深める』でした。

授業中は、多くの先生が参観する中、児童たちは、学習に励むことができました。本時は、この単元のほぼ最終部にあたり、児童の今まで積み重ねてきた、かけ算(1)の単元での学力の定着度が見て取れる時間でしたが、全体的に見て、個々の学力の定着を、間近で感じることができました。

また、本時の展開のし方は、いわゆる、新学習指導要領で謳われている、児童の主体的、且つ、対話的な学習に即しており、興味深く参観させていただきました。

まず、主体的な学習には、導入(展開のはじめ)で『児童がやってみたい』と思えることが大切だと考えており、注目しました。また、対話的な学習には、『何でも言える開放的な雰囲気』が学級内に必要だと考えており、注目しました。この2点について、今日の授業は、教職員に、授業でのタブレットの活用方法も含め、よい意味での問題提起をしてくれたと感じました。私自身も、とてもためになりました。今後も、校内で、授業改善についての研鑽を続けていきます。

最後に、この場に臨み、又この場を提供してくださった先生方に、そして、意気込んで、授業に臨んだクラス児童に感謝したいと思います。ありがとうございました。

